



善頭エッセイ

はこだて旅便い

「今日もぷらぷら」

112



文月 齊 (ふみつき さい)
埼玉県出身。
人と街、自然と文化を題材に、
みちくさばかりの旅を続ける
エッセイスト。
函館、埼玉、大阪を拠点に
旅を満喫中。

「啄木の愛した海辺を自転車散策」

前略、変わりはないか？
ぶらぶらと散策するのが気持ちの良い季節になったね。こちら函館も公園のサクラが葉桜
に変わり、日中は汗ばむ陽気に恵まれる日も多くなった。例年なら大型連休を利用して旅に
出るところだけど、流行り病の影響で今年もなんとなく自粛モードになってしまっようね。幸い
函館の周辺には海も山もあって、旅気分を味わうには事欠かないので助かってるよ。とくに
自転車を利用すると移動距離もぐっと延びて、これまで気づかなかったものにも目が留まる
ようになるんだ。最近気に入っているのが、旧市街から函館空港に向かって続く国道278号線、
通称漁火通り。ほら、函館山から街を見たときに、くびれた地形から右側にカーブを描く
あの海岸沿いだよ。海岸通りと呼ぶ人も多いけど、イカ漁の季節になると夕方から海の上に
ぼつぼつと漁火が灯ってね、全盛期にはイカ釣り漁船の漁火で水平線が覆われ、平成3年の
公募で「漁火通り」と名付けられたんだってさ。
車も楽に通れそうなほど幅の広い歩道が続いていて、近所に住む人のジョギングや散歩
コースとして利用されているけど、坂道もなくほとんどまっ平らな道だから自転車でのん
びり走るのが都合がいいんだ。もともと、この辺りにはもともと大きな砂山が存在していた
らしく、国語の教科書でもおなじみの石川啄木も作品の中でここにあった砂山のことを詠ん
でいるそうだよ。そういえば、幕末に作られたという古い地図を見たことがあったけど、そこ
にもしっかりと大森山砂丘と書かれていたっけ。明治16年に行われた測量によれば東西981m、
南北327m、高さ33.3mという規模だったそうだよ。歌に詠むほどこよなく愛したこと
にちなみ、啄木小公園も整備されていてね、彫刻家本郷新の作った石川啄木坐像も設置され
ている。ほら、いつだったか君と行った札幌の本郷新記念札幌彫刻美術館、あの人の作品
なんだ。これがなかなかいいロケーションに置かれていてね、座り込む啄木のバックに函館
山が横たわり、砂浜、青い海、函館山が一枚の絵画のように並ぶ。なるほど、この景色なら
啄木でなくても魅了されるよ。
砂山はなくなったけど、砂浜は今でも健在。犬を散歩させる人や、変わったところでは
スラックラインを楽しんでいる人も見かけることがあるよ。え、それって何かって？簡単に
言うとなんて。ウェビングという細いベルト状のラインの上でバランスを楽しむ遊びなんだ
けど、砂浜がマット代わりになるのでフィールドとしてちょうどいいんだらうね。初めて
見かけたときにはサーカス団でもやってるのかと期待したけど、自転車走って始めて始め
て気づいた光景だったなあ。
車と違って、気になるものがあつた時にすぐに立ち止まれるのが自転車のいいところだね。
先日も、漁火通りを湯の川方面に進み、熱帯植物園の前を通り過ぎて、更に海沿いに進む
ことおよそ1km「たこ焼き」と書かれた幟がはためくのが目に留まった。日に焼けた赤ちよう
ちゃんには「おでるちゃんお好み焼き」の文字。君の暮らす町では、民家の庭先でたこ焼き
を焼いているお店があつたけど、まさにあの雰囲気。この一年はそっちに行けなかったこと
もあり、つい懐かしくなって自転車を停めて声をかけてみた。
「いらっしやい」と、関西弁特有のイントネーションで迎えてくれたのは、いかにも大阪
のおばちゃんという雰囲気のお母さんで、6年前からこの場所でお店をやっているとのこと。
大阪の味に馴れていたこともあり、ほとんど反射的にお好み焼きを頼んでいたけど、ひと口
食べただけで「そうそう、この味！」と思わず声を出してしまつたよ。特別な材料は使つて
いないと言つてたけど、長年大阪で暮らしていたからこその出せる味なんだろうね。
流行り病のせいでまだもう少し気ままな旅はできそうもないけど、おでるちゃんのおかげ
で大阪グルメの禁断症状を出さずに済みそうだよ。君もこっちに来たときには、一緒に海
を見ながら大阪グルメを楽しもう。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ
イータックス 検索